



あおぞら & つくしんぼ

SSKP

つくつく通信

No.98

編集～NPO法人はらっぱ 東京都町田市小川1511 TEL/FAX 042(796)8468

7㉔、これが噂の請求業務?.....

開設16年目のフリースペースつくしんぼはこの7月より、児童発達支援事業「あおぞら」と放課後等デイサービス事業「つくしんぼ」に移行しました。

正直言って、ピンときていません。午前中に新規に未就学児の療育を始めてはいるものの、午後の就学児への放課後活動自体、なんにも変わっていないようなものなのですから.....

変わったのは、お金のやりとり。今までは年に二回、予算決算書を市に提出すれば、一年分の補助金が振り込まれる仕組みでした。それがこれからは、毎月10日までに国保連への請求業務をしなければならぬ。これを怠ると、入金途絶えます。しかも他の事業所利用者もいる場合、そちらとも連携しなければならぬ。自分のペースだけでは仕事は進められず、これが面倒臭いのなんのって。

単式の会計処理の複式簿記への移行は、なんとか事務担当職員にバトンタッチ出来ましたが、請求業務の方はかなり高度なパソコンの知識が必要。となると、現状のうちの施設での職員体制では、私ぐらいしかやれる人間がいません。

だから7月から、請求業務に向けての傾向と対策を頑張ってきたのですが、7月20日過ぎになって、大変な状況に.....。耳垢取りに行っただけのはずの近所の耳鼻科医が、私の喉を見て「大変!」と一言。ただちに町田市民病院→北里大学病院と送られ、即日入院。病名は「急性喉頭蓋炎」。

扁桃腺炎の一種かと思いきや、とんでもない。医学生の教科書に載ってる頻度の高い突然死のトップ

項目に載っているという、恐怖のビョーキなのだそう。もし、あの日に耳鼻科に行っていなかったら、私はその日のうちに窒息死していたらしく.....。

入院期間は2～3週間と宣告され、となるとウチの施設は移行の初回から請求業務が出来ないという状況に。まあ、仕方がないやと諦め気分でしたら、奇跡的な回復力(?)で1週間後には退院。

が、この1週間のブランクが痛手でした。退院早々、一切手つかず状況からの請求業務。マニュアル読んでもさっぱり意味不明の国保連提供の簡易請求ソフトの使い勝手の悪さに辟易。ギブアップ。民間の請求ソフト会社の担当を拝み倒し、速達で専用ソフトを送って貰い、到着したのが8月7日。請求締め切りリミットの3日前!.....。

ただちに2泊3日、ひたすら頑張っってはみたものの、些細なミスで国保連は請求データを呆気なく突っ返してくるとの悪夢のような噂も飛びかかっていて、パソコンの向こう側の見えない敵との闘いに極度の緊張感。マウスを握む右手には無駄な力が入り過ぎ、肩から指先にかけてがビリビリ状態。完全に子指の感覚を失う腱鞘炎になってしまいました。

おかげさまで、ミスもなく済んだようなのですが、9月に入ってから、またしても格闘。先月出来たはずのことが今月出来ない!なぜ???

えーい、今月は突っ返し覚悟で請求データ転送。で、この通信の記事を書いている次第。雑文書いているぶんには全然緊張感ないんだけどなあ.....。(^^;

(NPO 理事長 山下久仁明)

あおぞらのページ

7月よりあおぞらでABAのセラピストをさせて頂いている末吉と申します。

わが息子は重度の自閉症と10年以上も前に診断されました。私の主人はアメリカ人でしたので、米軍基地内のドクターから、ABAの療育を受ければきっとよくなる!と言われました。でもABAってなんだろう? どうしたらいいのだろう?

ドクターはABAは日本にはないから渡米することをお勧めするよと言いました。

私がABAを深く知るきっかけとなったのが、NPOはらっぱの理事長であるレインボーおやじこと山下さんです。

当時、我が息子が自閉症と診断されて間もない時に、どうしてよいのかわからず、いろいろな人のブログやホームページを検索し、あるブログに週40時間のABAってなんですか? という質問をしたところ、レインボーおやじさんがロヴァース法じゃない? っておっしゃってくださったのが渡米を決意するきっかけとなりました。

それからというもの、息子の療育のために生きていた感じです。

しかし時は流れ、いろいろな事情で一時、一人で日本に数か月間戻っておりました。

時は2009年4月5日、参加させて頂いた川崎市で行われたイベント「ようこそ自閉症ワールドへ」でようやく山下さんに直接お礼を言える機会ができました。

同時に山下さんが製作された映画「ぼくはうみがみたくなりました」を始めて観賞することができ、感動のあまり、この映画を世界に広めたいと思い、英語字幕作成のボランティアもさせて頂きました。

その後、私は離婚をし、2011年9月、日本に息子連れて戻りました。アメリカでは障害を持った子どもをもつ親の離婚率が98%と言われております。私もその中のお仲間になりました。

帰国後、いろいろ考えて、自分が一番したい仕事は何か、今までずっと経験してきた息子へのセラピー、アメリカでは親へのトレーニングが頻繁で私もたくさんのトレーニングを受けてきました。それを生かして、プライベートでABAのセラピストとなりました。

その1年後、山下さんから「児童発達支援で療育を始めるんだけどやる気ない?」とお声をか

けてくださいました。

「でも、ぼくうみの映画の医療監修は内山先生だし、TEACCH関係の知り合いが大勢いるし、大丈夫なんですか?」と質問したところ、「放課後の遊びにしか興味ないから。自分にはTEACCHもABAも関係ないから。内山先生は今や日本のトップの先生。ウチがABA始めたぐらいで怒ってる暇なんかないって」と笑っていました。私は悩むこともなくこのようなありがたいお話はないと、すぐに「はい!」とお返事させて頂きました。

あおぞらの療育が始まって約3か月目。最初のうちはみんなママと離れるのがつらかったでしょう。新しい場所に来て、新しいことをして、混乱もあつたでしょう。でもママは必ず決まった時間にはお迎えに来るのだとわかればもう大丈夫。ちょっと泣いたって、ママがいなくなればおもちゃで遊んじゃいます。

ABA療育はアメリカのカリフォルニア州では頻繁に行われております。日本ではこのような個別対応はまだ進んでおりません。しかしこの療育方法は発達や言葉に遅れのある子どもたちにとって最も効果的であると医学的に発表されているのもアメリカです。

スモールステップでの介入はスモールステップで成長していきますが、みんな違ってきます。

言葉がはっきりしてきた子、人の真似が上手になってきた子、トイレでおしっこができてきた子、ごはんが上手に食べられるようになった子、字がうまく書けるようになってきてる子、小さかった声がだんだんとしっかりとした声になってきてる子、嫌いだった食べ物を口に入れることができるようになった子、カタカナが読めるようになってきた子……数々の成長が見られます。

そしてなにより、泣いていた子も笑顔が増えてきました。「できるんだ!」という自己肯定感を持つことによって、ABAのセラピーはより楽しくなっていきます。

小さい「できる」を増やして、大きい喜びと自信につながればいいなと思います。みんなの成長がこれからも楽しみです。(末吉景子)



つくしんぼのページ

7月に移行しました

放課後等デイサービスに移行して、2ヶ月が経ちました。移行してすぐに夏休み。「つくしんぼ」は、午前中に活動している児童発達支援「あおぞら」と合計で定員が10人ということになってしまったので、学校が休みにもかかわらず、つくしんぼに来ることのできない子どももいて、心苦しいです。6月までは定員など考えず何人来てもかまわないという感じで活動していたので、そのギャップに戸惑っています。(迷)

新たに土曜日に、中高生を中心に目的を決めて遊び&勉強(?)に出かける活動も始めました。社会のルールを知ったり、いろいろな経験を少しずつ積ませてあげたい気持ちで山下さんから提案があり、私も子どもたちの自立の第一歩だと思い、賛成しました。子どもたちと一緒に遊びに行けるから、内心嬉しい。(笑)

移行してからの行事と言えば、男女2つのグループに別れてのつくしんぼでのお泊まり会。夜には花火をやり、子どもたちは楽しそう。私たちはちょっと疲れ気味……。(苦笑)

苦手な事務作業が増えて、最近では子どもたちともなかなか遊べません。子どもたちもそれがだんだんわかってきたのか、「とがしさーん」と呼ぶ声が少なくなってきました。(悲)

とまあ、そんな感じで、夏休みが終わってからも、毎日忙しく動いています。これからも悲しい事務作業にもメゲずになんとか頑張っていこうと思います。(望)

(つくしんぼ施設長 富樫幸恵)

つれづれ交友録

これからも楽しい思い出を

✍️ 石庭 京子

はじめまして。4月からパート職員として働かせて頂いています。

以前は、学童クラブでパート職員として4年間お世話になりました。最初の配属先は高ヶ坂学童クラブでした。障がい児は8人で、そのうち肢体不自由の子どもは5人いました。障がい児保育は初めての経験で、毎日がとても楽しく新鮮で、そして悩み・落ち込みの繰り返しでした。

子どもたちにも慣れた頃、脳性小児麻痺で車椅子の小学校1年生のA君と散歩した時のこと、A君が学童で禁止されている場所…学校の裏側…へ行こうと言うのです。

その場所は、桜の花びらが舞い落ち、一面がピンクのじゅうたんになっていました。なんてロマ

ンチックなシチュエーション!!

そこでA君が「結婚しよう!」と言うではありませんか!! 私は驚きとともに嬉しさもこみ上げ、即座にOKしてしまいました。

<45歳のおばさんでいいのかな? ご両親は20歳代なのに。嘘でも怒るだろうなあ…>

すると次は「指輪の交換をする」という段取りのよいA君!! 私は草を丸め、A君の指に……。

数日後、A君との散歩から帰ってきたパート職員のS先生から「A君と結婚する約束をした」と聞かされビックリ!!

<え〜?! 二股!? ショック!! でも私の方が指輪交換までしたんだから、気持ちは私の方が上でしょう? > 思ったりして…

私のラブロマンスはあっけなく終わりました。今でもいい思い出です。

ただただしくても自分の思いや気持ちを表現できる子どももいれば、それが難しい子どももいます。常の子どもたちの気持ちを大切に、子どもの目線になって遊びや行事に参加することができるよう心がけていきたいと思っています。

つくしんぼのみなさん、これからもどうぞよろしく願いいたします。

H24年度のサポーターご支援 ありがとうございます

おかげさまで8月末時点において、104名の方からサポーターご支援を頂いております。昨年度は116名の方からご支援を頂いているので、認定NPOになるための条件(3000円×100人の寄付を2年連続)のクリアは達成しました。

法内移行に伴う請求業務等の事務・経理仕事が軌道に乗ってくれば、時間的な余裕もできるはずなので、認定NPO化に向けての作業に取りかかれるかなと思っています。

(まだちょっと精神的に余裕がないんですけど……)

認定を取るための条件は、ほぼクリアしています。ネックは経理処理に関してだけかなと思っています。昨年度分までの経理が、行政への提出する書類の関係で、単式簿記状態なのです。認定条件には2年連続の複式簿記による正確な経理処理が入っています。ただ、単式簿記で認定を受けられた団体もあると聞いているので、ダメもとで頑張ってみるつもりです。m()m

もしダメでも、もう1年頑張ればいだけですし。(^o^)v

※ 認定NPOとは、寄付をして頂いた方々が各種の寄付金控除が受けられる制度です。

はらっばサポーターご支援ありがとうございました(4月〜8月)

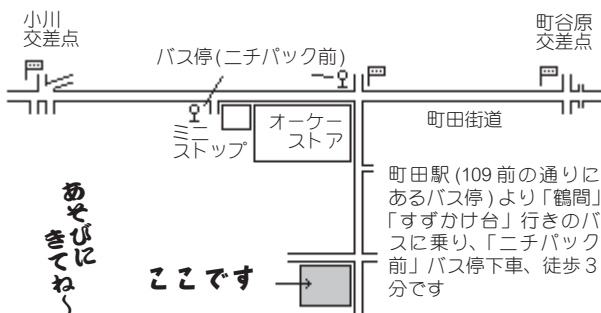
佐治様、杉本様、吉田様、坪井様、中田様、小宮様、松野様、角谷様、平井様、椎名様、井上様、(株)八朗平様、山本様、原子様、亀屋様、的野様、工藤様、渡口様、中村様、永野様、福井様、谷沢様、大石様、桜井様、(株)三和住建様、清水様、佐々木様、高崎様、池田様、横溝様、澤様、金森様、坂本建設工業(株)様、難波様、境様、竹田様、中西様、小林様、稲垣様、菊田様、(株)ニュークリア様、山田様、よこはま発達クリニック様、久保様、(株)玉川電気様、田辺様、大工原様、志岐様、林様、細野様、矢田様、古閑様、依田様、西山様、松見様、西京様、高橋様、志賀様、レマーニ様、深川様、角井様、新村様、山下様、佐藤様、杉田様、上野様、田中様、小田様、木島様、奥山様、友井様、森様、佐々木様、外谷場様、川本様、小熊様、矢下様、須崎様、氏原様、岡本様、黒川様、高橋様、山本様、木村様、斉藤様、岩崎様、山上様、柴原様、管藤様、山田様、米倉様、白浜様、李様、西田様、吉本様、他・匿名の皆様

土曜クラブがスタート。みんなと出かけます。



月に2回の土曜日に土曜クラブがあります。夢の島の第五福竜丸記念館と葛西臨海公園の観覧者と横浜の原模型博物館に行きました。みんなとでかけるのは楽しいです。(T・M)

♪はらっばの地図♪



東急田園都市線「すずかけ台」駅からだと徒歩15分程です

はらっば(あおぞら&つくしんぼ) サポーターご支援のお願い

はらっば(あおぞら&つくしんぼ)はハンディをもつ子どもたちの遊び場です。1996年に活動開始。2007年からはNPO法人として運営を続けています。よろしかったら「サポーター」としてご支援ください。認定NPO法人取得の関係もあり、年間一口3000円でお願ひしております。ご支援頂いた皆様には、年4回、この会報誌「つくつく通信」を送付させて頂きます。

郵便振替口座番号 00120-7-168283
加入者口座名称 NPO法人はらっば